

第7回 町田市廃棄物最終処分場閉鎖等検討委員会の議事要旨

開催日時：平成20年9月2日(火) 19:00~21:00

開催場所：町田市リサイクル文化センター研修室

参加者：（委員）梶山 正三[委員長]、小川 由一[副委員長]、関口 鉄夫[作業部会長]、
広瀬 立成、渋谷 謙三、粕谷 羊三、新井 堅司、大垣 雅子、
高木 康夫、フォーク エリック、中川 慶子、小林 美知、木野 直美、
（事務局）鈴木 和夫、加藤 貴一、田後 真人、内山 重雄、河西 秀悟、
加藤 保、黒須 桂子、菊地 賢治、鶴長 文憲、斉藤 泰久、
日高 正人、田中 利和
（傍聴者）3名 （敬称略）

主な議事内容を以下に示す。

（1） 8月28日豪雨による峠谷堰堤のり面表層崩壊について報告

29日の朝8時に確認し、現状はブルーシートで養生済みである。U字溝からオーバーフローした水によりU字溝の下が崩壊したと考えられる。東京都には報告済みで、東京都から現地状況を近々状況確認に来ることとなっている。以上について事務局から報告があった。

主な意見を以下に示す。

- ① 以前から少し水が出やすいところだったと記憶している。以前の写真があれば見せて欲しい。他の堰堤は問題なかった。
- ② 今回崩れたところは危ないと思っていた。今回崩れた原因のひとつとして、駐車場や道路のほうからの雨がみんな入ってきておりそれが原因の一つと思われる。この堰堤の対応は、覆土等の工事よりも、先にやっていくべきである。
→崩れたところはあのままに放置しない。東京都の確認の後、順次対応をしていく。

（2） 第6回検討委員会、第7回作業部会の議事要旨の確認

事務局より第6回検討委員会、第7回作業部会の議事要旨の内容について説明を行い、承認された。第7回作業部会議事要旨について、以下の意見があった。

- ① (3) ④について、何のための覆土なのかについて説明していくことが重要である。

（3） 議事「覆土計画」について

両埋立区における覆土の計画、排水浄化センター下流部の水路付替えについて事務局より説明し、概ね了承された。主な意見を以下に示す。

- ① 先日100mm/hの豪雨があったが大丈夫かとの意見があった。現計画において、実質的には200mm/hの降雨まで対応できる構造になっていることを説明した。
- ② 外周水路からこれまでよりも調整池に入る水量が増えると思うが大丈夫かとの意見があり、調整池は50年確率降雨200mmで設計しており、約17000m³の容量を持っている。また、農業用水の貯水というバッファーを6000m³程度持っていることを説明した。
- ③ 峠谷埋立区の10mの覆土は、その重さによる浸出水の拡散や、下から見た場合に高い堰堤となる懸念がある。このため、モニタリング結果や周囲の状況を確認しながら段階

的に盛土をしていく。

- ④ 峠谷の覆土は最終的な計画を固めた上で、そこにいたる道筋を議論していくことが必要である。今後のモニタリング計画のところでも議論し、議論の結果を、報告書にしっかり記述することが必要である。
- ⑤ ガス抜き管を 10m 立ち上げることに問題ないかとの意見があった。他の処分場の事例から見ても、うまく機能しており、技術的に問題ないことを説明した
- ⑥ 旧埋立地は、ボーリングでメタンガスが検出されたこともあり、ガス抜き管等の何らかの対策が必要である。峠谷の覆土を段階的に行う中で、旧埋立地の対策も検討していく。

(4) 議事「調整池の浚渫」について

調整池の浚渫方法と浚渫土の処理方法について事務局より説明し、浚渫方法については概ね了承された。浚渫土の処理方法については、いただいた意見を参考にして、いくつか案を提示し、その案をもとに委員会で議論することとなった。主な意見を以下に示す。

- ① 乾燥させて撒くというやり方は、周辺の住民は納得しない。安全な対策を考えていかなければならない。
- ② 調整池は一番初めに取り扱わなければならない作業となる。そのまま撒くという形ではなく、セメントで固化処理するなどしてこの処分場で処分するのが妥当だと考える。

(5) その他、今年度の調査結果報告について

今年度の調査結果について、各埋立区毎に地下水の水質分析結果（イオンバランス調査結果等）を中心に報告した。報告内容をもとに、次回委員会でモニタリング計画を検討していくこととなった。主な意見を以下に示す。

- ① イオンバランス調査結果の図はヘキサダイアグラムとあって、昔からよく使う方法である。有害物質の問題とは関係ない。
- ② 土粒子が入った試料で分析を行うことについて、ろ過しないで分析することが本来のやり方である。濁らないように採水するのだが、濁る場合も多い。
- ③ 濃度の年変化が大きい地点については、降雨の影響などによる変動もあるため、その傾向を把握するためには、もう少し分析を継続する必要がある。現状の結果であれば、それほど大きい変動ではないと考えられる。

(6) その他、住民説明会報告について

覆土の材料確保のための処分場内での仮置きに関する住民説明会の開催内容について事務局より報告があった。

(7) 今後のスケジュール

- ① 第 8 回作業部会 ; 9 月 19 日 (金) 18:00 開催
- ② 第 8 回検討委員会 ; 第 8 回作業部会において今後の作業見通しを立て、日程を決定する。

以上